

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	5-4-2	事業名	観光都市さっぽろ推進事業				
担当	観光文化局観光部観光企画課 横尾・浜部 TEL211-2376						
全体計画							
事業内容	観光客の継続的な来客増を図るため、観光地としての街の魅力を高めるとともに、増加を続ける個人旅行者対応の促進、ホスピタリティの向上による満足度アップ、そしてコンベンション誘致のための事業を以下の4つのプロジェクトで実施する。 個人客対応充実プロジェクト 来客受入強化プロジェクト 魅力づくり発信プロジェクト コンベンションプロジェクト			<年度別の事業内容>			
				[19年度]～[22年度] 個人客対応充実プロジェクト 誘致ツール作成、現地プロモーション、観光基本情報整備、シーニックバイウェイ、共通利用バス実験(H19～20)等 来客受入強化プロジェクト 観光マップ制作、リアルタイム情報発信、観光ボランティアの育成・支援、札幌魅力再発見研修等 魅力づくり発信プロジェクト 魅力づくり助成金、プロモーション助成金、ポスター・リーフレット制作、関西圏への集中プロモーション(H22)等 コンベンションプロジェクト 展示会・見本市出展、キーパーソン招へい、インセンティブツアー誘致ツール制作、ノベルティグッズ制作(H20)等			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	個人客対応充実プロジェクト(9,781千円) 外国人向け観光基本情報整備840千円、札幌まぢめぐりバス実証実験事業負担金1,946千円、「さっぽろウェルカムステーション」実証実験事業補助金1,000千円、FIT(個人旅行)促進4,000千円、シーニックバイウェイ推進事業1,995千円			個人客対応充実プロジェクト(8,000千円) 外国人向け観光基本情報整備1,000千円、札幌まぢめぐりバス実証実験事業負担金1,000千円、シーニックバイウェイ推進事業2,000千円、FIT(個人旅行)促進4,000千円 来客受入強化プロジェクト(7,165千円) リアルタイム情報発信システム運営2,500千円、外国人向け日本文化紹介・基本会話ツール制作1,000千円、観光施設一覽表制作500千円、札幌の魅力再発見研修1300千円、観光ボランティア育成支援事業1,000千円、市民と協働による観光ガイドブック制作865千円			
	来客受入強化プロジェクト(7,667千円) リアルタイム情報発信システム構築2,500千円、観光マップ制作3,129千円、ホテルコンシェルジュ研修1,000千円、観光ボランティア育成支援事業919千円、SAPPORO記念写真撮影スポットガイド制作119千円			魅力づくり発信プロジェクト(8,100千円) 芸術・文化・食等を活用した街の魅力創造支援2,000千円、観光PRリーフレットの制作3,100千円、観光プロモーション助成3,000千円 コンベンションプロジェクト(6,000千円) 国際コンベンション誘致プロモーション1,500千円、国内コンベンション誘致プロモーション4,500千円			
	魅力づくり発信プロジェクト(5,182千円) 街の魅力創造支援1,500千円、観光プロモーション助成1,771千円、観光ポスター制作1,911千円						
	コンベンションプロジェクト(3,057千円) 国際コンベンション誘致プロモーション2,718千円、国内コンベンション誘致プロモーション339千円						
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
外国人観光客のリピーター率		25.4%	28.9%	27.7%	28.85%	30%	30%
札幌観光の満足度(おもてなし)		69.5%	78%	72.3%	73.6%	75%	75%
コンベンションの開催件数		911件	952件	981件	1,015件	1,050件	1,050件
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 観光ボランティアが観光案内所で観光案内をするなど市民参加によるホスピタリティの推進に取り組んでいる。来客受け入れ強化プロジェクトでは、参加する市民自身の満足度を高め、協働事業の充実に努めている。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] 魅力づくり支援、プロモーション助成は事業者主体の観光資源開発や誘客促進に効果がある。 [人材協力] まぢめぐりバス実証実験の事務局を担い、継続的事業の基盤づくりに寄与している。 [情報協力] コンシェルジュ研修を通して各ホテルとの情報共有のためのネットワークを形成している。 [その他の協力]</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり タクシー事業者向けの魅力再発見研修では、タクシー研修で実績のある札幌商工会議所との共催とした。また、ホテル研修では、札幌ホテル連絡協議会と事前に協議し各ホテルの理解が得やすいように工夫している。</p>							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード		5-4-2		事業名	観光都市さっぽろ推進事業	
評価(成果)				課題		
<p>個人客対応充実プロジェクトでは、観光基本情報整備を着実に進め、共通利用バス実験として「札幌まちなめぐりバス」の商品化を達成することができた。</p> <p>来客受入強化プロジェクトでは、観光マップ制作、リアルタイム情報発信、観光ボランティアの育成・支援、札幌魅力再発見研修を着実に進めた。</p> <p>魅力づくり発信プロジェクトでは、魅力づくり助成金により受け地側の魅力づくりを着実に進め、プロモーション助成金によって札幌への旅行商品の造成を促進することができた。</p> <p>コンベンションプロジェクトでは、コンベンション誘致を着実に進めることができた。</p>				<p>旅行代理店、航空会社、ホテル業界、タクシー業界など、観光関連事業者とより一層連携して事業を進めていく必要がある。</p>		
今後の事業の予定・方向						
<p>旅行代理店、航空会社、ホテル業界、タクシー業界など、観光関連事業者とより一層連携を強化し、「個人客対応充実」「来客受入強化」「魅力づくり発信」「コンベンション」の4つのプロジェクトを継続して推進していく。</p>						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	37,650	37,650	37,650	37,050	150,000
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他一般財源	0	0	0	0	0
事業費	37,650	29,265	-	-	66,915	
予算	財源内訳					
	国・道支出金	0	0			0
	市債	0	0			0
	その他	0	0			0
	一般財源	37,650	29,265			66,915
事業費	25,687	-	-	-	25,687	
実績	財源内訳					
	国・道支出金	0				0
	市債	0				0
	その他	0				0
	一般財源	25,687				25,687
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				36.6%
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
[19年度] 事業内容を精査・修正した。						
[20年度] 事業内容の精査により、事業費を圧縮した。						